

- 赤平市では、毎年「市民防災体験会」が実施されており、今年度は10周年記念として、更なる地域の防災意識の高揚と防災行動を身につける為、規模を拡大した取り組みが実施されました。
- 札幌開発建設部空知川河川事務所では、中学生を対象にした水防災教育及び、洪水・災害復旧等のパネル展示、降雨体験装置、水流体験装置による防災体験などの協力を行いました。
- 降雨体験装置・水流体験装置は341人が体験し、水防災教育では中学生46名が参加し学習しました。

赤平市「市民防災大体験会」 概要

実施内容： 一昨年の南富良野町幾寅地区の災害や近年多発している豪雨災害等に対し、地域住民の防災意識の高揚と災害に対する自助・共助・公助と防災行動力を身につけることを目的とし、降雨や水流など豪雨災害時の状況体験や洪水・災害復旧等のパネル展示、水防災教育、そのほか各機関の展示による市民防災大体験会が実施された。

実施日：平成30年9月5日（水）

実施場所：赤平中学校（旧校舎）グラウンド・体育館  
（赤平市東文京町4丁目6番地）

主催：植村建設(株)、植栄興業(株)、赤るい志民サポーター

共催：赤平市、空知建設業協会、赤平ラブリバー推進協会など5団体

協力：国、北海道、赤歌警察署・赤平建設業協会、陸上自衛隊等29団体

参加人数：約900人



実施状況



水防災教育



パネル展示



降雨体験装置



水流体験装置